



## 「思い出」との別れ方を教えて

私は、知る人ぞ知る？業界関係グッズのコレクターであります。例えば新機種が発売されるとキャラクターのマークが印刷されたストラップや日用品などが配布されますが、そういった販促品はもちろん、貼付けられている「のし紙」や入っていた「紙袋」などに至るまで、関連グッズを捨てることができずに保管してしまうのです。一応、メーカーのロゴ入りオリジナルに限るという“こだわり”はあるので、普通の菓子折りなどでしたら惜しみなく消費してしまうのですが（笑）。

それでも、大体この業界に入った20年ほど前から収集癖が続いているため、とうとうそれらの置き場所に困るようになってしまいました。初期の頃はメーカーのテレホンカードやタオル、紙袋程度だったのが、タイアップが浸透したここ10年ほどの間に一気に物が増えて来て、もはや日常の生活空間を圧迫し始めているだけでなく、どこに何があるか把握できないような有様です。

今までこのコラムでも、何度か「断捨離したい」などといったことを書いて来ましたし、身の回りの不要品を処分するように心がけて来ました。…が、もはやそんな生易しいことでは追いつけないほど、事態は深刻です。そこで、先日意を決して場所を取っている割に必要な性が感じられないものとして、押し入れの一角を完全占拠している「メーカーの紙袋類」を処分することにしました。

とはいえ、私の場合ライターという職業柄、そういったものも記事のネタになることがしばしばありますので、捨てる前に写真を撮っておくことに決定。自室のドアにS字フックを掛け、そこに一枚ずつ袋をぶら下げて撮影しては、ゴミ袋

に入れて行く…という作業を行いました。

まずは紙袋の前面、裏側、そしてサイド…といったように、一枚ずつ作業を進めていって、2時間近く経った頃。額にうっすら汗が光ってかなり疲労も感じるようになりました。…さて、随分捗ったけれど何枚ぐらい撮れたのかしらと思って勘定してみたところ…何と、たったの50枚しか撮影できていなかったのです！

おそらく、数百枚は優にあるのに、いつ終わるのか!?

しかも、例えば「創立何十周年記念」などというロゴが入っているものを「もったいないなー」などと眺めてしまったり、捨てるのに大変な勇気が必要だったりするものもあるので、全部処理したいなら機械的に進めるしかありません。いやはや、紙袋レベルの「思い出」と決別する葛藤が、こんなにきついと。もしストラップなどのグッズになったら、どんなことになってしまうのでしょうか。想像したくないですね…。

この春は、そんな風に私なりに色々悩みながら、片付けを進めております。また、機会があれば進捗状況などもご報告したいと思います。どなたかもし何かいい「思い出」との決別法があったら、教えて下さい！



じんぼう・みか

法政大学卒業後、文具メーカー勤務を経て業界誌記者となり、1993年独立。取材記事、コラムなど連載。近著「パチンコ年代記」（バジリコ、07年）